

孝さんのご紹介でした。李家さんは非常にご多用の中、私が卓話する日はわざわざご出席のうえ、「大変親しくしているのにすでに四十四回も卓話をしていることを知らなかったのはすまなかった」というような紹介をされていたのでした。

第百回目は東京ロータリークラブでした。東京ロータリークラブといえば、会員が四百名ぐらいいもあり、外国人も三、四十名いてイヤホーンで聞くようになっていて、日本最古最大の代表クラブです。平均年齢が六十八歳とかいうことでした。会社の社長さん級ではなく、大会社の会長級以上の大きな代表クラブです。このクラブで卓話するようになったのは、会員でおありになる新田義實先生（東京産業顧問）のご紹介でした。他のロータリークラブで私の卓話をお聞きになり、その当時、ご自分が社長をしておられた明和産業株式会社で話をするようにといわれ講演させていただいたのでした。私が東京ロータリークラブで卓話するときはこのクラブの会長をしておられ、クラブの週報に「速記学校の校長というが卓話を九十九回もやっている人である」といつてご紹介しておられたのです。卓話は非常に好評を博し、卓話がすんだ後、外国人の会員まで前に出て来て握手をされたものでした。

なお百回目、東京ロータリークラブで卓話するならば、九十九回目は関西で最も大きなクラブで卓話しようと思ひ、大阪南クラブを選んだのでした。関西で最大のクラブは大阪ロータリークラブですが、この